

食糧分野への貢献



持続可能な農業の推進

世界人口の増加に伴い、穀物需要は2000年から2050年にかけて約2倍の36億トンになると見込まれています。一方、世界の耕地面積はほとんど増加しておらず、人口増加に伴って一人当たりの耕地面積は減少を続けています。世界中の人々が食糧を手で取り、飢えることのない社会を実現するため、持続可能な農業の推進を当社にとっての重要課題と認識し、取り組んでいきます。

持続可能な農業の実現に向けて

世界中の人々が十分な食糧を持続的に入手できる社会を実現するためには、世の中の農業が持続的かつ効率的である必要があります。これに対し当社は、農業関連事業を通じて、様々な取り組みを進めています。

食糧を取り巻く課題

- 人口増加による食糧需要増加
- 一人当たり耕地面積の減少
- 気候変動による収量減少
- 世界的な化学農薬の登録規制の強化
- 消費者からの安全・安心な品質要求の高まり

当社のアクション

化学農薬

安全・安心を追求した製品の開発・上市

バイオリショナル

天然物由来の微生物農薬、植物成長調整剤、根圏微生物資材や、それらを用いて作物を病害虫から保護し、作物の品質や収量を向上させるソリューションの提供

種子処理

殺虫剤、殺菌剤の種子へのコーティング

精密農業

ドローンを活用した散布、土壌診断等

メチオニン

飼育対象動物の品質の向上と生産力向上

期待されるアウトカム

農作物の品質・単位当たり収量の向上

農作業の効率性・収益性向上

農薬施用に伴い発生する環境負荷の低減

土壌保全

飼育対象動物の成長促進による供給量増加

バイオリショナルと化学農薬の二刀流でリジェネラティブ農業の実現をリード

あらゆる分野で持続可能型社会を目指した動きが加速している中、農業分野ではリジェネラティブ農業を基本としたバリューチェーンの構築が急速に進んでいます。農業生産量と食の安全・安心を確保し、生物多様性の保全やカーボンニュートラルの実現を志すこの“リジェネラティブ農業”の実現には、バイオリショナルと化学農薬両剤の適正な使用が望ましいと考えています。世界トップレベルのプレゼンスを保持している当社のバイオリショナルと化学農薬の両輪にて世界をリードすべく、今後もリジェネラティブ農業に適合したポートフォリオの拡充、強化に注力していきます。